

1. 事業名	OSAKA女性活躍推進事業			
2. 実施期間	平成31年4月1日 ~ 平成32年3月31日			
3. 女性活躍推進法に基づく推進計画策定期(策定予定時期)	平成28年3月 (策定済・策定予定) ※どちらかにマルをつけてください。	計画期間(予定)	H28	~ H32
4. 地域の実情と課題	<p>1 産業構造 ・大阪府内に本社を置く企業の内、中小企業が占める割合は99.6%(約29.3万社)、うち常用雇用者数20人以下の小規模企業は84%(約24.7万社)。 ※「統計でみる大阪経済の現状 2018年度版」</p> <p>2 女性の就労状況・就業率 ・大阪府の女性の就業率(労働力調査・年平均)は、平成26年:44.8% ⇒ 平成29年:47.7%(2.9%上昇)、全国 平成26年:47.6% ⇒ 平成29年:49.8%(2.2%上昇)であり、上昇率が全国に勝り全国との差は縮まりつつあるものの、都道府県別女性の就業率(15~64歳)は全国45位(※)であり依然として低い。</p> <p>3 一般事業主行動計画策定状況 ・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定届出企業数は、常時雇用労働者301人以上の企業で1,462社(98.8%)、300人以下の企業で178社(平成30年12月末)。特に300人以下の企業における計画策定率が著しく低い。</p> <p>4 固定的性別役割分担意識 ・「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成するという回答が、大阪府45.5%、全国44.6%で、全国に比べ高く、固定的性別役割分担意識の解消が課題である。 ※平成26年「男女共同参画社会に関する府民意識調査」(大阪府)、平成26年「女性の活躍推進に関する世論調査」(内閣府)</p> <p>5 女性ロールモデルの不足 ・管理職・役員として第一線で活躍している女性が社内にはいないことが課題である。 女性活躍が進んでいない要因・・・女性ロールモデルの不足53.9% ※2018年「女性の活躍推進に関するアンケート調査」(2018年関西経済連合会・連合大阪、女性従業員の回答)</p> <p>6 市町村における男女共同参画等に関する取組状況 ①男女共同参画に関する条例を制定している市町村は35市町村(策定率81%)、 ②男女共同参画に関する計画を策定している市町村は43市町村(策定率100%)、 ③女性活躍推進法上の推進計画を策定している市町村は29市町村(策定率67%、平成31年3月策定予定を含む)であり、引き続き、条例の制定と、女性活躍推進法上の推進計画の策定を市町村に働きかけていく必要がある。</p> <p>上記の実情を踏まえ、平成31年度は「女性の就業率」、「一般事業主行動計画策定」、「固定的性別役割分担意識」、「女性ロールモデルの不足」を優先的に解決すべき課題と認識し、解決に向けた事業に重点的に取り組むものとする。 ※平成30年度から本事業を「OSAKA女性活躍推進事業」として、知事重点事業に位置付け</p>			
5. 事業の趣旨・目的	<p>・上記課題等を踏まえ、産官学等9団体で構成する「OSAKA女性活躍推進会議」と連携のもと、女性が輝く大阪の実現に向けて、企業の経営者や若者の意識改革にかかる啓発事業を充実・強化していく。オール大阪で女性の活躍推進に向けた機運醸成に努め、男女が持てる力を存分に発揮し、あらゆる分野で活躍できる元気な大阪をめざす。</p> <p>・女性活躍推進法の改正により一般事業主行動計画策定が義務となる従業員101人以上300人以下の企業への行動計画策定を促すため、一般事業主行動計画の策定を要件とする「大阪府いきいきプラス事業者認証(平成30年度創設)」への応募を促進する。</p> <p>・働く場などあらゆる分野における女性活躍推進を加速させるため、平成30年度に新たに創設した「大阪府男女いきいき事業者表彰」受賞企業の先進的な取組について広く周知を図る各種啓発事業を実施する。</p> <p>・若年層の固定的性別役割分担意識の解消や職業観の醸成を目的に、生徒・学生を対象に、社会人ロールモデルによる体験談の発表やロールモデルを囲んでのグループワークを実施し、女性のライフイベント時の対応方法等含めた、自分らしい「生き方・働き方」について考えてもらう。</p>			
6. 事業目標・重要業績評価指標(KPI)(全体)(※女性活躍推進法に基づく推進計画や男女共同参画計画などの数値目標を活用しつつ、客観的な数値等による事業目標・KPIを設定してください。⇒要件②「見える化」(※複数の目標・KPIを設定する場合は、適宜、行を追加してください。)		目標・KPI	目標値(時点)	現状値(時点)
①平成32年度まで(第4次男女共同参画基本計画期間中)の中長期目標	女性の就業率	全国平均を上回る	(H31年度)	47.7% (アウトカム) (労働力調査H29年平均)
②平成32年度まで(第4次男女共同参画基本計画期間中)の重要業績評価指標(KPI)(※KPIは目標達成への事業進捗の測定指標)	—			
②事業目標(全体)	啓発セミナー等の実施回数	8回	(アウトプット) (H31年度)	12回 (アウトプット) (H30年度)
④事業KPI(全体)	大阪府「男女いきいきプラス認証」認証事業者数	100	(H31年度末)	43 (H30.12末)
⑤市町村の取組状況に関する目標	「市町村推進計画」(女性活躍推進法第6条2項)の策定市町村数	43	(アウトプット) (H32年度末)	29 (H30年度末)

	⑥市町村の取組状況に関するKPI	(※具体的なKPIを記載してください。) (※末尾にアウトカム又はアウトプットの別を()書きで記載してください。)	()				
7. 事業内容	<p>※下線部は31年度の新たな取組</p> <p>①「OSAKA女性活躍推進 ドーン de キラリ フェスティバル 2019」の開催 大阪府域における女性の活躍推進に資するため、女性活躍推進のホームグラウンドであるドーンセンターにおいて、企業、地域、農業、大学など幅広い分野の団体が参画し、女性活躍推進に関連する様々な事業を集約して、OSAKA女性活躍推進月間(9月)に、2日間にわたり開催する。</p> <p><主なプログラム> ○メインシンポジウムシンポジウム(「大阪府男女いきいき表彰」受賞企業による先進事例発表等) ○専門家による女性のためのお悩み相談会 ○女性のための合同企業説明会 ○府民(若年層等)向けイベント「女性活躍を考えるトークバトル(仮)」 ○OSAKA女性活躍推進会議及び大阪府庁「女性活躍推進に関する庁内連絡会議」構成団体主催のセミナー等</p> <p>②「OSAKA輝(キラリ)塾」の開催 働く場における女性活躍推進を促進するため、ドーンセンターにおいて啓発事業を実施する。</p> <p>○「先進企業に学ぶ！女性活躍推進講座」(2回) ⇒「大阪府男女いきいき表彰」受賞企業による先進事例紹介、事業主行動計画策定のための講座等(厚生労働省「中小企業のための女性活躍推進事業」等、大阪労働局と連携予定)</p> <p>○「ロールモデルに学ぶ！働く女性のスキルアップ研修」(2回) ⇒「大阪府男女いきいき表彰」受賞企業の社員や「大阪サクヤヒメ表彰(大阪商工会議所が実施)」の受賞者がロールモデルとして出演するセミナー</p> <p>③高校・大学等での「ライフデザインの描き方セミナー」の実施(2回) ⇒「大阪府男女いきいき表彰」受賞企業の社員や「大阪サクヤヒメ表彰(大阪商工会議所が実施)」の受賞者がロールモデルとして出演するセミナー</p> <p>④OSAKA女性活躍推進会議の運営 上記①から③までの企画検討、実施や連携方策の検討、課題の抽出等を行うとともに、次年度以降の活動検討を行う。</p>						
8. 事業の実施により期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍推進について府民全般に意識啓発を行なうことで、府民の関心を高め、女性の就業環境の改善が期待される。 企業の先進的な取組を紹介することにより、女性が働きやすい職場環境の整備に取り組む事業所が増加することが期待される。 事業主行動計画策定・公表を要件とする「大阪府男女いきいきプラス認証」事業者を対象とした「大阪府男女いきいき表彰」の受賞企業を紹介することで、「認証」及び「表彰」への関心を高め、女性活躍推進法に基づく事業主行動計画策定する事業者が増えることが期待される。 生徒・学生向けの啓発事業を実施することで、生徒・学生が就職先企業の女性活躍推進の取組を重視するようになれば、企業側が女性活躍推進の必要性を認識し、積極的に取り組むようになり、ひいては社会全体の女性活躍推進に向けた機運醸成につながることを期待される。 						
9. 事業効果の検証及び今後の課題の整理方法	<ul style="list-style-type: none"> 「大阪府男女いきいきプラス認証(※)」認証事業者数 ※事業主行動計画の策定・公表を要件とする大阪府の認証制度で、平成30年度創設。 OSAKA女性活躍推進会議における効果検証と次年度事業への反映 						
10. 事業の実施体制 ⇒要件③「官民連携・地域連携」	連携体制の名称	OSAKA女性活躍推進会議	女性活躍推進法に基づく協議会の設置状況				
	構成団体	<ul style="list-style-type: none"> OSAKA女性活躍推進会議 大阪商工会議所、大阪府、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団、大阪労働局、公益社団法人関西経済連合会、近畿経済産業局、公益財団法人21世紀職業財団(関西事務所)、日本労働組合総連合会大阪府連合会、特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアム 大阪府男女共同参画推進ネットワーク 大阪府庁「女性活躍推進に関する庁内連絡会議」 (政策企画部、総務部、福祉部、商工労働部、環境農林水産部、教育庁) 	設置の有無	有	設置(公表)時期 設置:H27年7月 公表:H28年4月	※連携体制が、法に基づく協議会の場合「○」を選択	○
	各構成団体の主な連携内容	<ul style="list-style-type: none"> ①「OSAKA女性活躍推進 ドーン de キラリ フェスティバル 2019」 ・・・開催に関する企画立案への参画と開催期間中における各団体主催の自主事業の開催など ②「OSAKA輝(キラリ)塾」 ・・・実施に当たっての講師派遣、講師情報提供、広報協力の提供など ③「ライフデザインの描き方セミナー」 ・・・実施に当たっての講師情報提供、広報協力など 					
	他の地方公共団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> 府内市町村においても、9月の「OSAKA女性活躍推進月間」中に女性活躍推進に関する関連イベントを実施し、大阪府のホームページやドーン de キラリ フェスティバル会場内での広報を実施し、オール大阪で女性活躍推進に向けた意識啓発に取り組む 					